

夢ある鶴ヶ谷へ

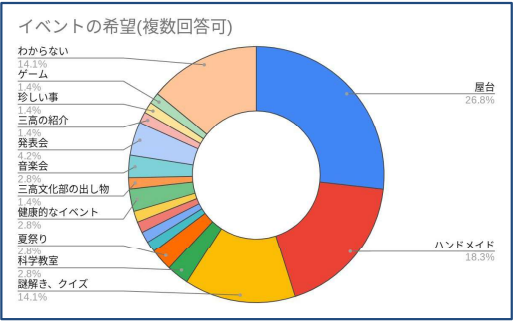
宮城県仙台第三高等学校 20班

1. 背景と目的

私達は、三高付近の地域の役に立つ活動をしたいと当初考えていた。そこで、鶴ヶ谷団地を調べていってみると昭和37年に作られた鶴ヶ谷団地は **One Center System** という理念に基づいて建設されており、具体的には「**仙台市を東北地方の中心にするために団地を開発する**」「**鶴ヶ谷団地の中心にショッピングセンターを作り、そこを起点に地域活性化を目指す**」といった内容であった。しかし現在の鶴ヶ谷は人口減少、周辺環境の変化により活気が失われている。その中で私達は同じ理念に基づいて建設されたイギリス・ロンドン近郊にある**レッチワース**という街を見つけた。レッチワースは住民主体の活動により中心商業地区の活気を取り戻したという経緯を持つ。そこで私達はレッチワースに習い、空き店舗が目立ち、コロナの影響でイベントの開催ができていないabAinを再び活性化させることで鶴ヶ谷に元気を取り戻すことができると考えた。具体的に班員で話し合った結果「**イベントを開きabAinに地域住民を呼び込む**」ということが私達にできる鶴ヶ谷の地域活性化への第一歩となるのではないかという結論に至った。



最後にイベントの希望について質問した。屋台やハンドメイドワークショップの人気が高かった一方で三高の紹介、科学教室、音楽会など**三高生ならではのイベント**を求める声があり私達の想定していなかった意見が得られた。



2) ワークショップ

私達は、10月22日に鶴ヶ谷市民センターにてabAinに着いてのワークショップを行った。このワークショップには鶴ヶ谷中学校の生徒名、鶴ヶ谷元気会、NEXT50、宮城大学の教授南部繁樹さんなど多くの方々に参加していただいた。

ワークショップのテーマ **夢ある鶴ヶ谷を目指して～中央ショッピングセンター見直しとまちづくり**

- ①abAinの現状
- ・abAinの所有者の考えを聞きたい
 - ・雰囲気が暗くて行く気にならない
 - ・周辺環境との繋がりが薄い
- などという否定的な意見が多く上がった。
- ②abAin活性化について
- ・住民の憩いの場となるよう椅子の設置
 - ・オープンカフェの開設
 - ・イートイン・自習室の設置
- などという意見が多く上がった
- ③イベントについて
- ・仙台三高、鶴谷中の文化部発表、小学生によるよさこい発表
 - ・フリーマーケット、屋台
 - ・くつ飛ばし大会、宝探し
- ※鶴谷中学校を借りて大規模に行いたいという大胆な意見も見られた



＜ワークショップ全体を通して＞
abAinに関してのワークショップを行ったが今のままでは行こうと思えないというような意見が多くあった。そこで私達が当初から考えていたように関心を持ち人が集まるきっかけとなるようなイベントが必要という声が地元の方々の声からも聞こえた。③にあるような参加者の案も参考にイベント決定を行っていく。

3. イベントの開催

5月11～19日に貼り絵制作をabAinの空きテナントを借りて実施することになった。
イベント内容:貼り絵制作

活動内容:A1の模造紙を1枚と、色画用紙50枚前後を用意し、abAinの来場に自由に貼ってもらう。

必要なもの:模造紙1枚、画用紙50枚前後、のり

自分たちでイベントの開催を実施することに効果があるのか簡易的なもので実験をしてみて、効果が実証されたら自分たちの探究活動を引き継いでくれる高2の探究班に継続的にabAinのイベントの開催をお願いする予定である。



参考文献

南部繁樹「都市と文化」「ワークショップ趣旨説明」
つるがや元気会「NEXT50NEWS第41号,第17号」